

2010年第3四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員 兼 CFO
児玉 龍三

2010.10.22

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示
増減、%は億円単位で表示された数字で計算

2010年第3四半期 連結決算概要

● タミフルを除く製商品売上高は堅調に成長

- ・ タミフルを除く製商品売上高 +98億円 (+4.0%)
 - ・ 国内 +3.3%、海外 +10.1%
- ・ タミフル売上高 ▲400億円
- ・ その他の営業収入 ▲35億円
- ・ 総売上高 ▲336億円 (▲10.8%)

● 営業利益 451億円 前年同期比 ▲137億円 (▲23.3%)

- ・ タミフル、その他の営業収入を除くベースでは増益

● 直近の売上状況に鑑み、業績予想を修正

損益の概要 1-9月実績

【億円】	2009年 1-9月	売上 (%)	2010年 1-9月	売上 (%)	増減	%
売上高	3,097		2,761		▲336	▲10.8
製商品売上高	3,034		2,733		▲301	▲9.9
タミフルを除く	2,476		2,574		+98	+4.0
タミフル	558		158		▲400	▲71.7
その他の営業収入	63		28		▲35	▲55.6
営業利益	588	19.0	451	16.3	▲137	▲23.3
営業外収益	78		22		▲56	▲71.8
営業外費用	5		30		+25	×6.0
経常利益	660	21.3	443	16.0	▲217	▲32.9
特別利益	3		1		▲2	▲66.7
特別損失	1		1		+0	+0.0
当期(四半期)純利益	409	13.2	281	10.2	▲128	▲31.3

●製商品売上高(タミフルを除く)
+98億円

●タミフル* ▲400億円

●その他の営業収入 ▲35億円
マイルストーン収入の減少

●営業利益 ▲137億円

●営業外収支の減少 ▲81億円
為替予約評価損益の悪化

期中平均レート(円)

	2009年1-9月	2010年1-9月
CHF	85.68	84.00
EUR	129.32	117.66

* タミフル 内訳

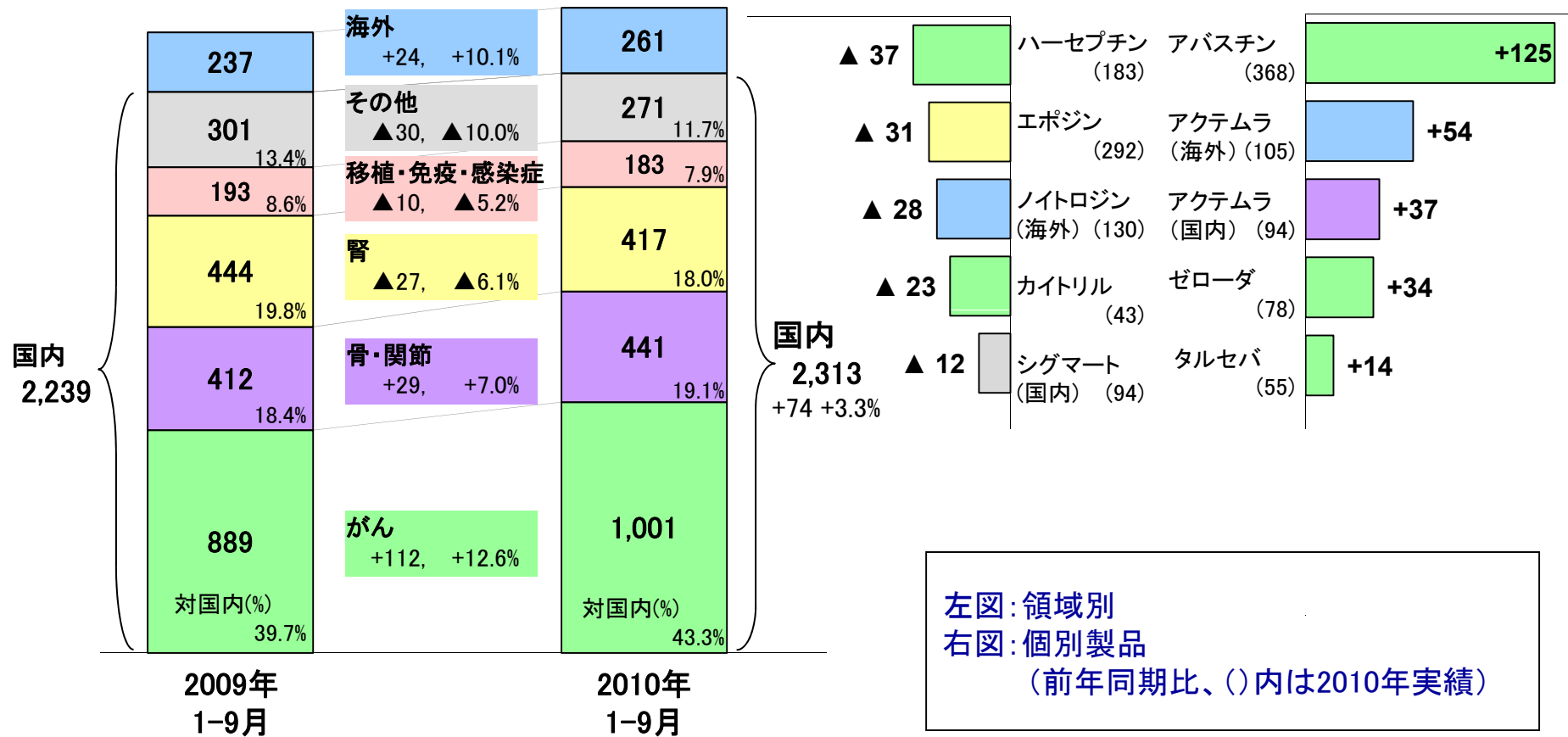
	2009年1-9月	2010年1-9月	増減
通常	185億円	14億円	▲171億円
行政備蓄等	373億円	144億円	▲229億円

製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-9月実績

【億円】

製商品売上高（タミフルを除く）
2,574億円（+98, +4.0%）

2,476億円



タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上												シーズン 売上	定点観測数* (百万人)
		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期			
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月		
通常	2004-05	232												246	1.47
	2005-06		119	99										218	0.92
	2006-07				37	50								87	1.01
	2007-08						52	14						66	0.66
	2008-09								57	110				167	1.27
	2009-10										252	14		266	2.02
	2010-11												150		
通常		351 (+265)		136 (-215)		102 (-34)		71 (-31)		362 (+291)		164 (-198)			

行政 備蓄等	2005-06		2	65										67	
	2006-07				179	189								368	
	2007-08						96	2						98	
	2008-09								11	144				155	
	2009-10										256	106		362	
	2010-11												60		
行政備蓄等		2 (+2)		244 (+242)		285 (+41)		13 (-272)		400 (+387)		166 (-234)			

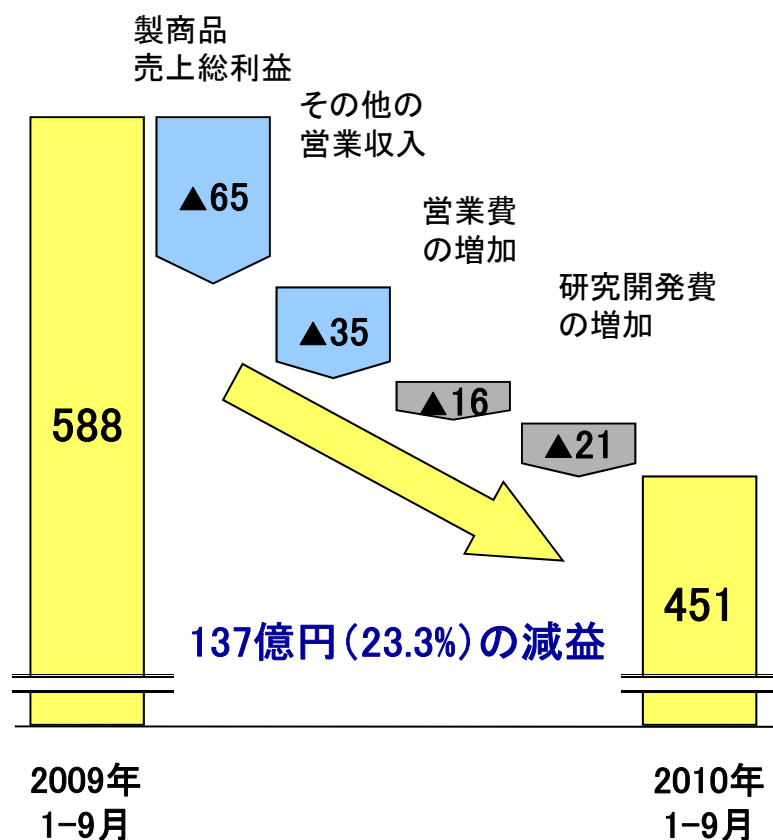
合計	232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	210
	352 (+266)		380 (+28)		387 (+7)		84 (-303)		762 (+678)		330 (-432)	

黄色の網掛けは予想値

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」 10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

営業利益の増減内訳 1-9月実績

【億円】



【億円】	2009年 1-9月	2010年 1-9月	増減	(%)
売上高	3,097	2,761	▲336	▲10.8
売上原価	1,433	1,196	▲237	▲16.5
売上総利益	1,664	1,565	▲99	▲5.9
うち 製商品	1,601	1,536	▲65	▲4.1
うち その他の営業収入	63	28	▲35	▲55.6
営業費	698	714	+16	+2.3
研究開発費	378	399	+21	+5.6
営業利益	588	451	▲137	▲23.3

- 売上総利益の減少 ▲99億円
タミフル売上高の減少
その他の営業収入の減少
- 営業費の増加 ▲16億円
人件費の増加
- 研究開発費の増加 ▲21億円
早期段階開発テーマの活動増加

損益の概要 7-9月（第3四半期）実績

【億円】	2009年 7-9月	売上 (%)	2010年 7-9月	売上 (%)	増減	%
売上高	1,180		937		▲243	▲20.6
製商品売上高	1,175		926		▲249	▲21.2
タミフルを除く	870		888		+18	+2.1
タミフル	304		38		▲266	▲87.5
その他の営業収入	5		11		+6	+120.0
売上原価	594		391		▲203	▲34.2
売上総利益	586	49.7	546	58.3	▲40	▲6.8
営業費	237		237		+0	+0.0
研究開発費	133		133		+0	+0.0
営業利益	216	18.3	176	18.8	▲40	▲18.5
経常利益	226	19.2	181	19.3	▲45	▲19.9
当期（四半期）純利益	146	12.4	117	12.5	▲29	▲19.9

●製商品売上高（タミフルを除く）

	+18億円
アバステン	+46億円
アクテムラ（国内）	+14億円
ゼローダ	+11億円
タルセバ	+6億円
アクテムラ（海外）	▲2億円
カイトリル	▲8億円
ハーセプチン	▲11億円
エボジン	▲12億円
ノイトロジン（海外）	▲14億円

●タミフル* ▲266億円

●その他の営業収入 +6億円

●営業利益 ▲40億円

（ご参考） 期中平均レート（円）

	2009年7-9月	2010年7-9月
CHF	88.12円	83.12円
EUR	133.85円	110.76円

* タミフル 内訳

	2009年7-9月	2010年7-9月	増減
通常	76億円	0億円	▲76億円
行政備蓄等	229億円	38億円	▲191億円

損益の概要

【億円】	実績	2月3日 期初予想		修正額	10月22日 修正予想		2009年 1-9月 /1-12月 (%)
	2010年 1-9月	2010年 1-12月	進捗率 (%)		2010年 1-12月	進捗率 (%)	
売上高	2,761	4,185	66.0	▲227	3,958	69.8	72.2
製商品売上高	2,733	4,140	66.0	▲232	3,908	69.9	72.4
タミフルを除く	2,574	3,753	68.6	▲175	3,578	71.9	72.2
タミフル	158	387	40.8	▲57	330	47.9	73.2
その他の営業収入	28	45	62.2	+5	50	56.0	64.3
売上原価	1,196	1,845	64.8	▲137	1,708	70.0	74.3
売上総利益	1,565	2,340	66.9	▲90	2,250	69.6	70.5
営業費	714	1,050	68.0	▲50	1,000	71.4	71.1
研究開発費	399	590	67.6	▲40	550	72.5	68.4
営業利益	451	700	64.4	+0	700	64.4	71.2
経常利益	443	705	62.8	▲18	687	64.5	73.0
当期(四半期)純利益	281	440	63.9	▲10	430	65.3	72.3

製商品売上高予想の修正

【億円】	実績 1-9月	2月3日 期初予想 1-12月	進捗率 (%)	修正額	10月22日 修正予想 1-12月	進捗率 (%)	予想 10-12月 (残)
タミフル除く製商品売上高	2,574	3,753	68.6	▲ 175	3,578	71.9	1,004
がん	1,001	1,402	71.4	▲ 3	1,399	71.6	398
アバスタチン	368	479	76.8	+33	512	71.9	144
リツキサン	161	234	68.8	▲ 9	225	71.6	64
ゼローダ	78	109	71.6	+4	113	69.0	35
ノイトロジン	72	116	62.1	▲ 9	107	67.3	35
カイトリル	43	78	55.1	▲ 18	60	71.7	17
骨・関節	441	642	68.7	▲ 7	635	69.4	194
スベニール	97	143	67.8	▲ 4	139	69.8	42
腎	417	593	70.3	▲ 10	583	71.5	166
エポジン	292	422	69.2	▲ 10	412	70.9	120
移植・免疫・感染症	183	319	57.4	▲ 61	258	70.9	75
ペガシス	74	148	50.0	▲ 43	105	70.5	31
コペガス	31	71	43.7	▲ 25	46	67.4	15
その他	271	389	69.7	▲ 18	371	73.0	100
海外	261	407	64.1	▲ 75	332	78.6	71
アクテムラ	105	197	53.3	▲ 69	128	82.0	23

為替変動の影響について

期初想定レート対比 利益影響額

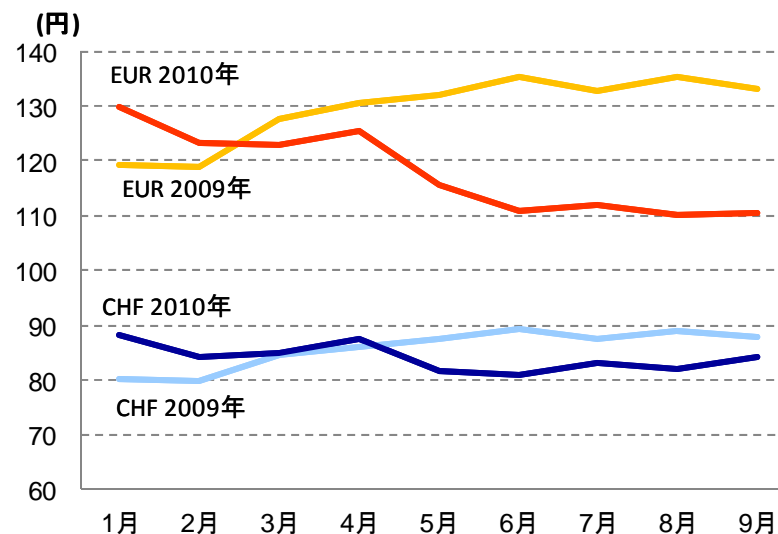
	1-6月	1-9月
売上高	▲9億円	▲18億円
	ノイトロジン(海外) ▲6億円 アクテムラ(海外) ▲3億円	ノイトロジン(海外) ▲13億円 アクテムラ(海外) ▲5億円
原価 販管費	ロシュ品原価 +12億円 原価その他 +4億円 欧州販社販管費 +2億円	ロシュ品原価 +20億円 原価その他 +2億円 欧州販社販管費 +5億円
営業利益	+9億円	+9億円
営業外収支	為替差損益・為替予約 ▲21億円	為替差損益・為替予約 ▲16億円
経常利益	▲12億円	▲7億円

● 想定レート

期初: CHF 88.00円 EUR 130.00円

修正: CHF 85.00円 EUR 119.00円

● (ご参考) 月次平均レートの推移 (CHF、EUR)



開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
常務執行役員
ポートフォリオマネジメントユニット長
田中 裕

2010. 10.22

開発の状況ーがん領域

自社品

PA799（海外）：固形がん
8月 P1試験開始

自社品

AF802：非小細胞肺癌
9月 P1/2試験開始

導入品

ゼローダ：胃がん
9月 公知申請

導入品

RG3502：乳がん
10月 P2試験開始

開発の状況一骨・関節領域

自社品

アクテムラ（海外）：sJIA
10月 申請

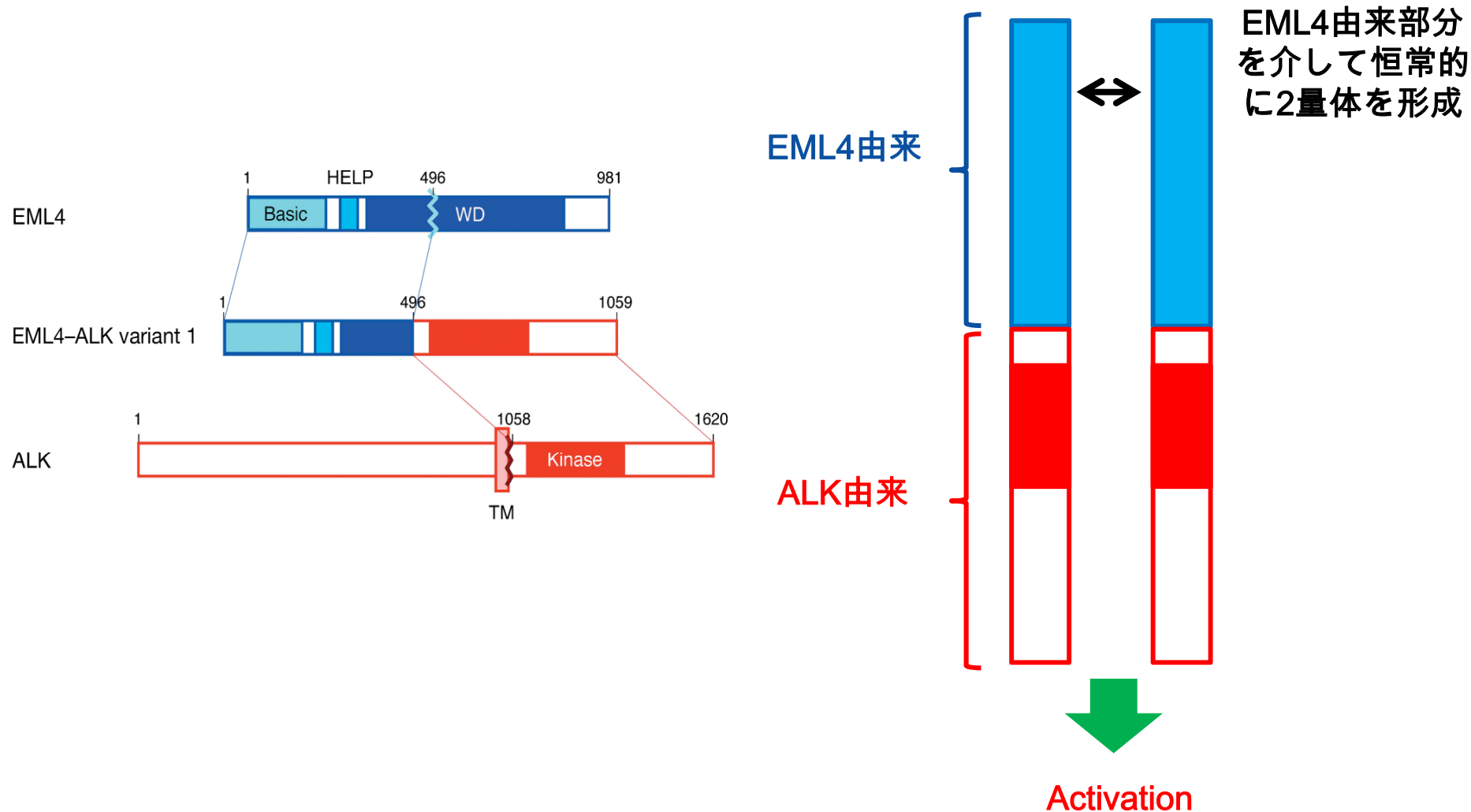
導入品

RG1594（オクレリズマブ）：関節リウマチ
開発中止-リスク/ベネフィットを考慮

AF802の作用機序（1）

- anaplastic lymphoma kinase（ALK）は、インスリン受容体スーパーファミリーに属する受容体型チロシンキナーゼの1つ。
- EML4-ALKに由来するALKキナーゼシグナルとがんとの関連が示唆されている。
- 非小細胞肺癌の約5%にEML4-ALK融合遺伝子の発現が報告されている。
- AF802は、ALKのキナーゼ活性を阻害することにより、EML4-ALKからのシグナルを遮断し、抗腫瘍効果を示すと考えられる。

AF802の作用機序 (2)



Soda M. et al., Nature, 2007: 448, 561-6, Fig 1b 一部改変

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：山田、広瀬、荒木、宮田

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村